



今回のお伝

プレゼンテーション
をしよう

月

日

年

組

名前



サトルたちのプレゼンです。役割を決めて、声に出して読むだけでもプレゼンのイメージがつかめると思います。

プレゼンの台本

サトル では、今から 駄菓子屋『タモっちゃん』の良さをプレゼンテーションしたいと 思います。

リン まずは、これを見て下さい。これは何の写真だと思いますか？

サトル これは、駄菓子屋のお客さん達の写真です。
「おばあちゃん大好き」
「おばあちゃんやめないで」
これだけの人が駄菓子屋のおばあちゃんのが大好きなんです。

シュン おばあちゃんは相談相手になってくれる。
おばあちゃんは優しくなぐさめてくれる。
いろんな声があります。

リン こんなに愛されているおばあちゃんの駄菓子屋をつぶすなんて、私達は絶対に反対です。

シュン 僕達はコンビニに行く理由と、駄菓子屋さんに行く理由についてアンケートで調べました。すると、あることが分かりました。

サトル (※コンビニの円グラフを出して)
コンビニに行く理由は『買いたいものがあるから』がほとんどです。
一方、駄菓子屋さんに行く理由はこちらです。
(※駄菓子屋の円グラフ出す)

リン 実は、駄菓子屋さんに行く理由は、「モノを買いに行く」だけではないんです。
『みんながいるから』『友達とおしゃべりしたいから』『おばあちゃんに会いたいから』

シュン 駄菓子屋さんは みんなのいこいの場なんです。
そんな大切な場所をなくしても いいんでしょうか？

サトル この写真を見て下さい。駄菓子屋さんには、色々な種類のお菓子があります。
しかも、どれも安い。100円だけでも、色々な組み合わせでお菓子を買えます

リン 私達はお小遣いの中でやりくりするために、どんな組み合わせでお菓子を買うか、頭の中で一生懸命計算をします。

シュン 実はそれが、算数の勉強になっているんです。
駄菓子屋はぼくたちにとっては、勉強の場でもあるんです。

サトル 駄菓子屋タモっちゃんは 僕達にとってなくてはならない存在なんです。
村上さん、今度僕たちと一緒に タモっちゃんに行きましょう！
きっと、その良さが分かるはずですよ！

サトル これで、ぼくたちの プレゼンテーションを終わります。